

# 広報とうかい 人・自然・文化が響き合うまち Tokai

November [No.753]

# 11・10

Bi-monthly Magazine  
for The People of Tokai

2007年[平成19年]

## Contents [11月の主な話題]

- わが村の家計簿をお知らせします……………2  
平成18年度決算報告と  
平成19年度財政状況
- ごみ袋の指定スタート……………8  
もう一度、確認しましょう  
正しいごみの出し方
- 地域医療を担う村立東海病院……………9
- 青少年育成体験記(PART.92)―[須和間]渡辺恵さん……………10  
子どもたちの輝きを願って…
- 今どきの青少年(VOL.102)―[白方]高野みづ穂さん……………11  
トラック&フィールド
- ず〜むあっぷ「まちの風景」……………12
- 中央公民館が優良公民館として表彰されました……………14
- 図書館トピックス……………15
- いんふおめーしょん……………16
- わが家の子育て奮戦記……………20  
[村松]横尾薫さん・佳乃葉ちゃん・風環くん



# —わが村の家計簿をお知らせします—

## 平成18年度決算報告

村では、皆さんの納めた税金などが昨年度1年間においてどのように使われたのか、また、今年度はどのように使われているのか知っていただくため、村議会9月定例会で認定された「平成18年度歳入歳出決算」と「平成19年度上半期(4月1日～9月30日)の財政状況」を公表します。

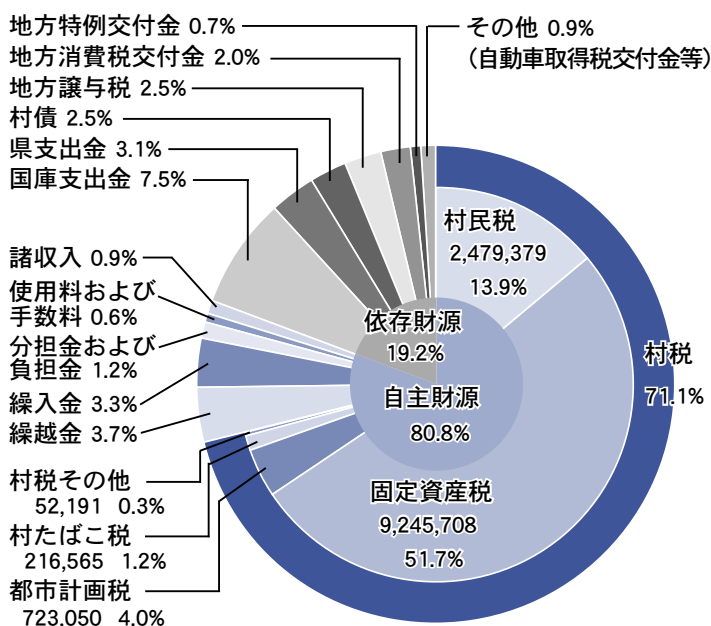
なお、金額は表示単位未満、四捨五入で表示しています。

### ●民生費(社会福祉、身体障がい者、高齢者、児童福祉など)

・高齢者センター運営事業	3,169万円
・(仮)地域包括支援センター改修事業	8,963万円
・心身障害児者福祉手当	1,971万円
・施設訓練支援事業	7,038万円
・デイサービス事業(知的・身体障がい者、児童)	5,241万円
・医療費支給事業(妊産婦、乳幼児、高齢者など)	1億8,727万円
・総合福祉センター運営管理事業	8,449万円
・学童クラブ関連事業(管理、運営など)	4,113万円
・児童手当支払事業	2億6,015万円
・民間保育所補助関連事業	3億9,153万円

## ■一般会計歳入

(単位：千円)



■一般会計歳入 平成18年度一般会計の歳入決算額は178億8,015万6千円となり、前年度と比較して5億3,975万2千円(3.1%)の増となりました。これは、地方譲与税や国庫支出金などが増えたためです。

(単位：千円、%)

科目	18年度	17年度	増減率
村税	12,716,893	12,996,902	▲2.2
繰越金	668,056	680,236	▲1.8
繰入金	582,148	550,503	5.7
分担金および負担金	204,904	186,977	9.6
使用料および手数料	111,516	111,543	0.0
諸収入	159,565	163,387	▲2.3
国庫支出金	1,342,815	803,366	67.1
県支出金	549,400	510,839	7.5
村債	439,800	249,000	76.6
地方譲与税	445,561	306,649	45.3
地方消費税交付金	363,725	344,086	5.7
地方特例交付金	133,259	189,981	▲29.9
その他	162,514	246,935	▲65.8
総計	17,880,156	17,340,404	3.1

■一般会計歳出 歳出決算額は170億7,208万8千円となり、前年度と比較して3億9,974万円(2.4%)の増となりました。これは、白方小学校建設用地を取得したことや、将来の事業資金に充てるための基金(貯金)が増えたことなどによるものです。

(単位：千円、%)

科目	18年度	17年度	増減率
教育費	3,502,178	2,742,260	27.7
民生費	3,117,222	2,944,008	5.9
土木費	2,443,436	2,608,610	▲6.3
総務費	2,134,922	1,933,347	10.4
衛生費	1,864,133	2,816,816	▲33.8
消防費	728,094	562,378	29.5
農林水産業費	386,759	420,641	▲8.1
議会費	206,699	206,743	0.0
商工費	132,025	128,275	2.9
公債費	1,175,920	1,204,343	▲2.4
諸支出金	1,380,700	1,104,927	25.0
総計	17,072,088	16,672,348	2.4

# ■一般会計歳出

## ●公債費

- ・村債元金等償還金 9億7,164万円
- ・村債利子等償還金 2億428万円

## ●消防費(防災対策など)

- ・消防庁舎管理事業(施設整備、管理、保守、点検など) 5,427万円
- ・救急資機材整備管理事業(機材管理、AEDの設置など) 1,349万円

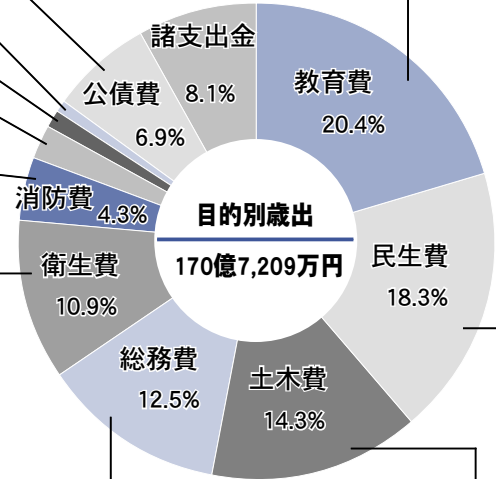
## ●衛生費(各種健診、ごみ処理、公害対策など)

- ・妊婦・乳幼児健康診査事業 1,152万円
- ・予防接種事業(インフルエンザなど) 5,951万円
- ・一般健康診査事業 1億2,103万円

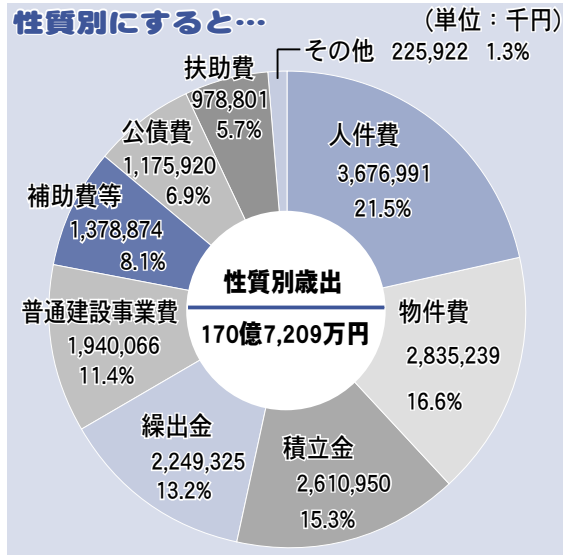
## ●教育費(幼稚園、小・中学校、図書館、公民館の管理運営など)

- ・白方小学校建設事業(用地購入、設計業務委託など) 4億1,636万円
- ・小学校コンピュータ機器整備事業(パソコン整備など) 5,641万円
- ・中学校施設整備事業(耐震補強、便所改修など) 1億5,453万円
- ・図書館管理運営事業(施設整備、管理、保守、点検など) 3,884万円
- ・文化センター施設管理事業(指定管理者委託金など) 8,467万円
- ・スイミングプラザ管理等改修工事 4,190万円

- 商工費 0.8%
- 議会費 1.2%
- 農林水産業費 2.3%



## 性質別にすると...



## ●総務費(役場管理、財産管理、戸籍、統計、徴税、選挙など)

- ・デマンド交通運営事業 3,892万円
- ・東海駅エレベーター設置事業 8,662万円
- ・駅東駐輪場整備事業 3,654万円
- ・庁舎管理費(警備、合同庁舎管理など) 2,597万円
- ・防災対策費(防災訓練など) 1,231万円
- ・自治推進費(自治会への補助金など) 8,615万円

## ●土木費(道路、港湾、公園、住宅など)

- ・村道の新設、維持補修事業 3億6,176万円
- ・都市計画道路整備事業 1億3,976万円
- ・公園維持管理経費(阿漕ヶ浦公園など) 9,494万円

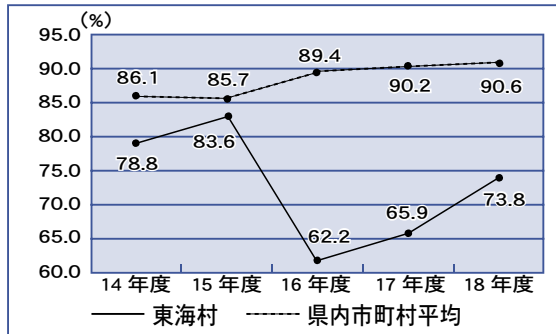
村民1世帯当たりに使われたお金は 125万円				
村民1人当たりに使われたお金は 47万円				
教育費 96,394円 	民生費 85,798円 	土木費 67,253円 	総務費 58,761円 	衛生費 51,308円 
消防費 20,040円 	農林水産業費 10,645円 	議会費 5,689円 	商工費 3,634円 	公債費 32,366円 

※この数字は、平成19年4月1日現在の世帯数(13,710世帯)と人口(36,332人)で算出しています。

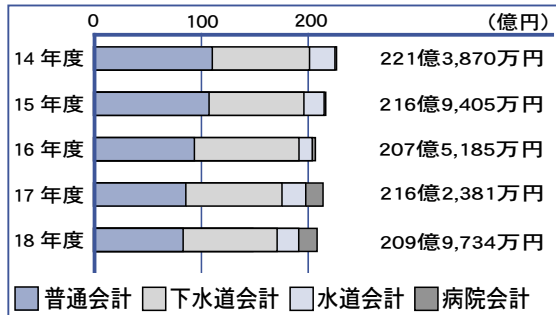
## ■過去5年間の推移

過去5年間の経常収支比率、地方債現在高、基金、村税収入額、扶助費、普通建設事業費、人件費の推移をお知らせします。

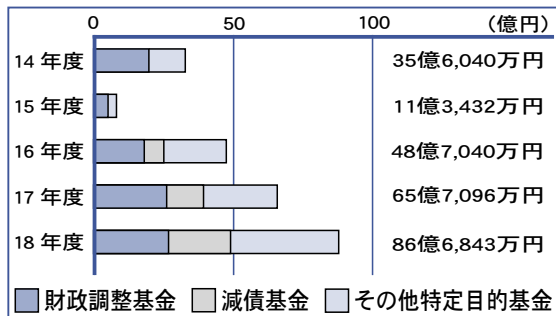
●**経常収支比率の推移** 財政構造の弾力性を表す指標で、この比率が高いほど建設事業等に使える財源(使用目的が決まっていない自由な財源)が少なくなっていることを示します。一般的に町村では75%を超えないことが望ましいとされています。引き続き経常経費の抑制に努めていきます。



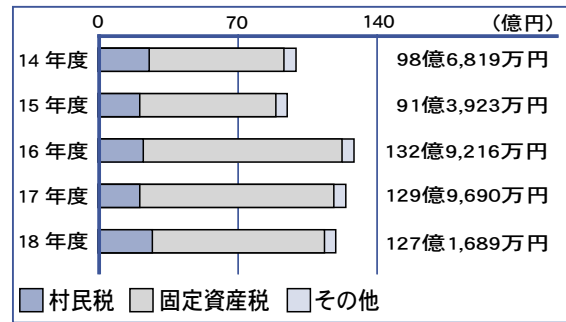
●**地方債現在高の推移** 病院事業会計については新病院建設に伴う借入により増えていますが、他会計は返済額以上の借入をしないよう努めているため、残高は減少しています。



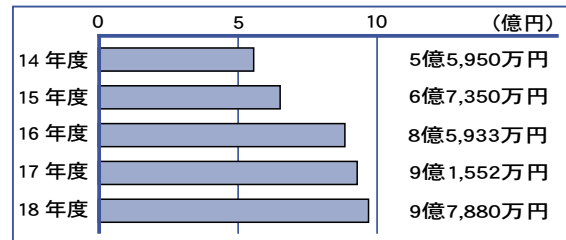
●**基金の推移** 家庭でいう貯金。年度間の財源不均衡を調整する財政調整基金、村債の償還財源を確保する減債基金のほか、公立学校建設の基金や緑地保全の基金など、使用目的が決まっている15の基金があります。将来にわたって確実な行政サービスを行えるよう、計画的に積み立てています。



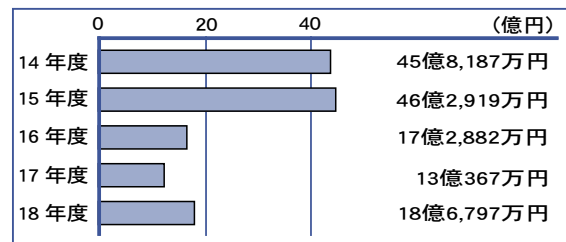
●**村税収入額の推移** 村税で大きな割合を占める固定資産税の償却資産分が年々減っていく傾向です。



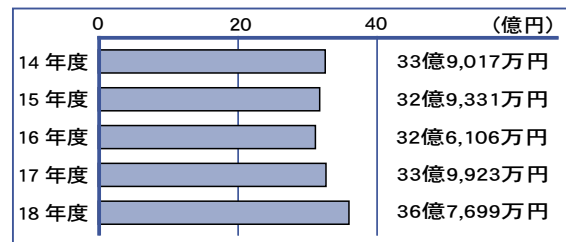
●**扶助費の推移** 扶助費とは、社会保障制度の一環として支出される経費。児童福祉法など、全国の市町村で支払われるものと、村独自の施策で支出されるものがあり、福祉の充実に伴い、年々上昇しています。



●**普通建設事業費の推移** 道路や学校といった、公共施設の整備等に掛かる経費。石神小学校や総合福祉センター建設が重なった平成15年度以降は、ほぼ横ばいに推移しています。



●**人件費の推移** 人件費は、職員の増減等によって変動します。平成18年度は、新・東海病院の指定管理者制度導入に伴い、職員の配置換えを行ったために増えましたが、集中改革プランに基づいた人件費の抑制については、今後も努めていきます。



※平成18年3月に策定された、平成22年までに村が行う事業の計画書

## ■特別会計決算額

### ●国民健康保険事業

- 歳入 26億8,688万円(前年度比▲1.8%)
- 歳出 24億6,940万円(前年度比▲1.5%)

### ●老人保健事業

- 歳入 20億4,447万円(前年度比0.3%)
- 歳出 19億7,995万円(前年度比▲2.6%)

### ●介護保険事業

- 歳入 13億9,624万円(前年度比11.4%)
- 歳出 13億2,695万円(前年度比9.2%)

### ●介護サービス事業

- 歳入 186万円(前年度比 —)
- 歳出 104万円(前年度比 —)

### ●東海駅西土地区画整理事業

- 歳入 7,091万円(前年度比▲5.1%)
- 歳出 1,426万円(前年度比▲24.3%)

### ●東海駅東土地区画整理事業

- 歳入 1億5,841万円(前年度比▲47.1%)
- 歳出 1億2,833万円(前年度比▲26.7%)

### ●東海駅西第二土地区画整理事業

- 歳入 3億7,867万円(前年度比8.1%)
- 歳出 3億2,580万円(前年度比25.3%)

### ●東海中央土地区画整理事業

- 歳入 7億697万円(前年度比2.3%)
- 歳出 5億7,895万円(前年度比▲1.4%)

### ●東海村公共下水道事業

- 歳入 17億9,000万円(前年度比▲0.3%)
- 歳出 17億4,475万円(前年度比0.2%)

### ●公園墓地須和間霊園事業

- 歳入 1億60万円(前年度比1.5%)
- 歳出 5,168万円(前年度比▲11.4%)

## ◆◆平成18年度の補助金の実績をお知らせします◆◆

住民主体のまちづくりを推進するための1つの手法として、さまざまな補助制度を設け、村内各種団体等の育成や負担軽減に努めていますが、補助金は使い方を誤ると、ただのバラマキや既得権益につながる側面があります。村では、補助金等審議会<sup>※</sup>からの提言(答申)を踏まえ、公益性の判断基準、交付基準の見直しなど、補助金の適正化に努めています。その取り組みの一環として、今年度から、補助金に対する理解と透明性の確保を図るため、補助金の実績等を村民の皆さんにお知らせすることとしました。平成18年度の補助事業の総数は128事業、補助金総額は5億8,690万4千円で、このうち、各種団体等への補助は93事業・4億4,000万1千円、個人への補助は35事業・1億4,690万3千円となっています。

### ◆補助金…特定の事業、研究等の育成や経済的支援を目的に、公益上必要がある場合に交付するもの

※補助金等審議会…村長の諮問に応じ、村が交付する補助金に関し、その公益性や効果等を審議するための、学識経験者等8人で構成している**村長の諮問機関**です。平成19年度は、これまでに継続補助金9件の審議を行ったほか、今後も定期的に審議する予定です。

下の表は補助の性質ごとに具体的に区分したものです。村では、幅広く補助していることが分かります。

区分(目的別)		事業数	補助金額(円)
活動支援のための補助金	幅広い分野での村民グループ等の自主的活動を支援することを目的とするもの(みんなで地域づくり事業補助金、東海村文化協会への補助等)	69	155,290,581
政策補助金	医療や農業・環境政策、社会的弱者の生活安定など、村の政策実現を目的とするもの(インフルエンザ接種費用助成、休日保育一時保育補助、生ごみ処理機設置費用助成など)	43	235,572,538
その他	上記以外(社会福祉協議会、シルバー人材センター等の公的機関への補助など)	16	196,041,282
計		128	586,904,401

区分(分野別)		事業数	補助金額(円)
地域自治	自治会活動等に対する支援	4	52,820,866
福祉	高齢者、保育児童、民間保育園、障がい者等への支援	31	247,035,230
健康・医療	インフルエンザの負担軽減等の支援	4	14,509,710
農業	水田転作や水田条件整備、担い手育成等の活動支援	28	120,564,689
教育	民間幼稚園、社会教育活動団体等への支援	31	74,122,448
環境	環境団体、浄化槽や太陽光発電装置の設置、生垣設置等の支援	11	20,519,700
その他	国際交流、商工観光など	19	57,331,758
計		128	586,904,401

## ■財政運営の効率化と補助金の適正化に向けて

村では、補助金等審議会での審議結果を踏まえて、補助金を交付しています。今後とも住民主体のまちづくりを推進するため、適切な補助制度の運用に努めていきます。

# 平成19年度財政状況

村では、皆さんの納めた税金などがどのように使われているか知っていただくため、年2回、財政状況をお知らせしています。今回は、平成19年9月30日時点での予算執行状況、財産および村債の状況などを公表します。

平成19年度上半期(平成19年4月1日から9月30日)の一般会計予算執行状況

・歳入執行率：83.1%(対前年度比0.7%の増) ・歳出執行率：44.2%(対前年度比4.7%の減)

歳入では、村税が予算額129億4,406万1千円に対し、調定額129億9,206万5千円と、既に予算を上回る収入が見込まれています。しかし、国庫支出金、県支出金、村債の執行率は低い状況です。これは、国庫支出金、県支出金については、年度後半に交付されるものが多く、村債については、歳出の執行状況を確認し、年度後半に借入れを予定しているためです。一方、歳出の執行率は、昨年度に比べると低い状況です。これは、昨年度の上半期に消防車両購入など、大規模な事業を執行したためです。

## ■一般会計予算執行状況

### 《歳入》

(単位：千円)

科目	予算額	調定額	執行率
村税	12,944,061	12,992,065	100.4%
国庫支出金	1,567,596	101,728	6.5%
繰越金	808,068	808,068	100.0%
県支出金	511,679	86,614	16.9%
地方消費税交付金	374,000	215,853	57.7%
村債	282,500	0	0.0%
分担金および負担金	216,878	92,309	42.6%
地方譲与税	178,080	58,165	32.7%
繰入金	175,404	1,300	0.7%
使用料および手数料	159,952	78,163	48.9%
その他	304,940	126,161	41.4%
総計	17,523,158	14,560,426	83.1%

### 《歳出》

(単位：千円)

科目	予算額	支出負担行為額	執行率
教育費	3,592,209	1,374,183	38.3%
民生費	3,328,307	1,646,923	49.5%
土木費	2,951,220	1,433,099	48.6%
総務費	2,129,570	1,165,253	54.7%
衛生費	1,887,026	1,062,034	56.3%
公債費	967,088	452,651	46.8%
消防費	571,053	260,060	45.5%
農林水産業費	434,796	137,726	31.7%
議会費	210,442	104,636	49.7%
商工費	141,107	104,198	73.8%
その他	1,310,340	3,989	0.3%
総計	17,523,158	7,744,752	44.2%

## ■特別会計予算執行状況

(単位：千円)

会計別	予算額	歳入		歳出	
		調定額	執行率	支出負担行為額	執行率
国民健康保険事業	2,812,696	1,833,185	65.2%	1,231,922	43.8%
老人保健事業	2,190,287	977,992	44.7%	793,083	36.2%
介護保険事業	1,586,634	831,609	52.4%	605,125	38.1%
介護サービス事業	5,289	2,420	45.8%	503	9.5%
東海駅西土地区画整理事業	100,578	56,688	56.4%	7,634	7.6%
東海駅東土地区画整理事業	146,475	50,087	34.2%	34,056	23.3%
東海駅西第二土地区画整理事業	352,384	115,875	32.9%	97,835	27.8%
東海中央土地区画整理事業	743,980	356,285	47.9%	245,089	32.9%
東海村公共下水道事業	1,782,236	856,965	48.1%	914,992	51.3%
公園墓地須和間霊園事業	95,426	87,977	92.2%	13,069	13.7%
総計	9,815,985	5,169,083	52.7%	3,943,308	40.2%

## ■村債(借入金)の状況

	借入先	平成19年9月30日現在高
普通会計	財務省	52億4,817万円
	日本郵政公社	18億9,581万円
	公営企業金融公庫	2億3,195万円
	銀行等	4億4,235万円
	全国自治協会	278万円
	環境再生保全機構	1億780万円
	茨城県	1億4,138万円
	計	80億7,024万円
介護会計	茨城県	2,840万円
	計	2,840万円
下水道会計	財務省	32億5,657万円
	日本郵政公社	28億9,902万円
	公営企業金融公庫	30億1,089万円
	銀行等	248万円
	計	91億6,896万円
	合計	172億6,760万円

## ■基金の状況

名称	平成19年9月30日現在高
財政調整基金	27億9,595万円
減債基金	22億399万円
奨学基金	1億4,658万円
芸術振興基金	1,000万円
国際交流基金	1,704万円
地域福祉基金	2億1,129万円
臨界事事故後対策基金	250万円
総合福祉施設運営基金	3,200万円
公立学校施設整備基金	21億9,650万円
照沼小学校建設基金	3億5,000万円
児童福祉施設整備基金	2億8,589万円
国民健康保険支払準備基金	1億3,266万円
介護給付費準備基金	677円
緑化基金	1億8,995万円
消防緊急通信指令施設整備基金	9,000万円
合計	86億7,112万円

## ■村税負担の状況

	収入済額	1世帯当たり負担額※	1人当たり負担額※
村税	96億3,428万円	69万5,968円	26万3,786円
村民税	17億6,404万円	12万7,432円	4万8,299円
	うち個人分	10億8,895万円	7万8,664円
固定資産税	71億3,015万円	51万5,073円	19万5,224円
	うち個人分	8億8,644万円	6万4,035円
軽自動車税	5,170万円	3,735円	1,415円
村たばこ税	9,040万円	6,530円	2,475円
入湯税	0円	0円	0円
都市計画税	5億9,799万円	4万3,198円	1万6,373円
	うち個人分	7,468万円	5,394円

※村税収入済額を平成19年10月1日現在の世帯数(13,843世帯)と人口(36,523人)で除したものです。

## 財政用語の解説

- ◇一般会計…村民税や固定資産税など、皆さんが納めたお金を財源として、福祉や環境衛生、教育、道路建設などの事業を行う中心的な会計。
- ◇特別会計…特定の事業を行う場合に、一般会計と区分して経理するための会計。
- ◇調定額…当該年度に収入するものとして決定したお金。
- ◇支出負担行為額…当該年度に支出するものとして決定したお金。
- ◇村税…村民税や固定資産税など、皆さんに納めていただくお金。
- ◇国庫支出金…村が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金。

- ◇繰越金…前年度から繰り越されたお金。
- ◇繰入金…基金や特別会計からの受け入れ金。
- ◇県支出金…村が行う特定の事業に対し、県から交付されるお金。
- ◇村債…国や民間金融機関などから借り入れたお金(借金)。
- ◇地方譲与税…国税として徴収された後、国から村に一定の基準で譲与されるお金。
- ◇地方消費税交付金…納めた消費税のうち、県から交付されるお金。
- ◇地方特例交付金…恒久的な減税に伴う村税の減収を補てんするため、国から交付されるお金。
- ◇教育費…小・中学校、幼稚園、社

- 会教育などに使われるお金。
- ◇民生費…福祉、医療などに使われるお金。
- ◇土木費…道路、公園の整備などに使われるお金。
- ◇総務費…一般的な管理事務や財政・財産管理、選挙などに使われるお金。
- ◇衛生費…保健衛生、環境衛生、ごみ、し尿処理などに使われるお金。
- ◇公債費…村債(借金)の元金や利子の償還に使われるお金。
- ◇自主財源…村税、使用料・手数料や基金からの繰入金など、村が自主的に収入することができる財源。
- ◇依存財源…国庫支出金や県支出金、地方譲与税、村債など、国・県から交付される財源等。



## ごみ袋の指定スタート

# もう一度、確認しましょう

## 正しいごみの出し方

● 問合せ 経済環境部ごみゼロ推進課 (☎ 282-7289)

### ■ 指定ごみ袋・ごみ処理券の種類と値段

袋の種類	袋の色	大きさ (販売価格)
可燃ごみ袋	黄色	45リットル(200円/10枚入)・30リットル(150円/10枚入)・20リットル(100円/10枚入)
不燃ごみ袋	青色	45リットル(200円/10枚入)・30リットル(150円/10枚入)・20リットル(100円/10枚入)

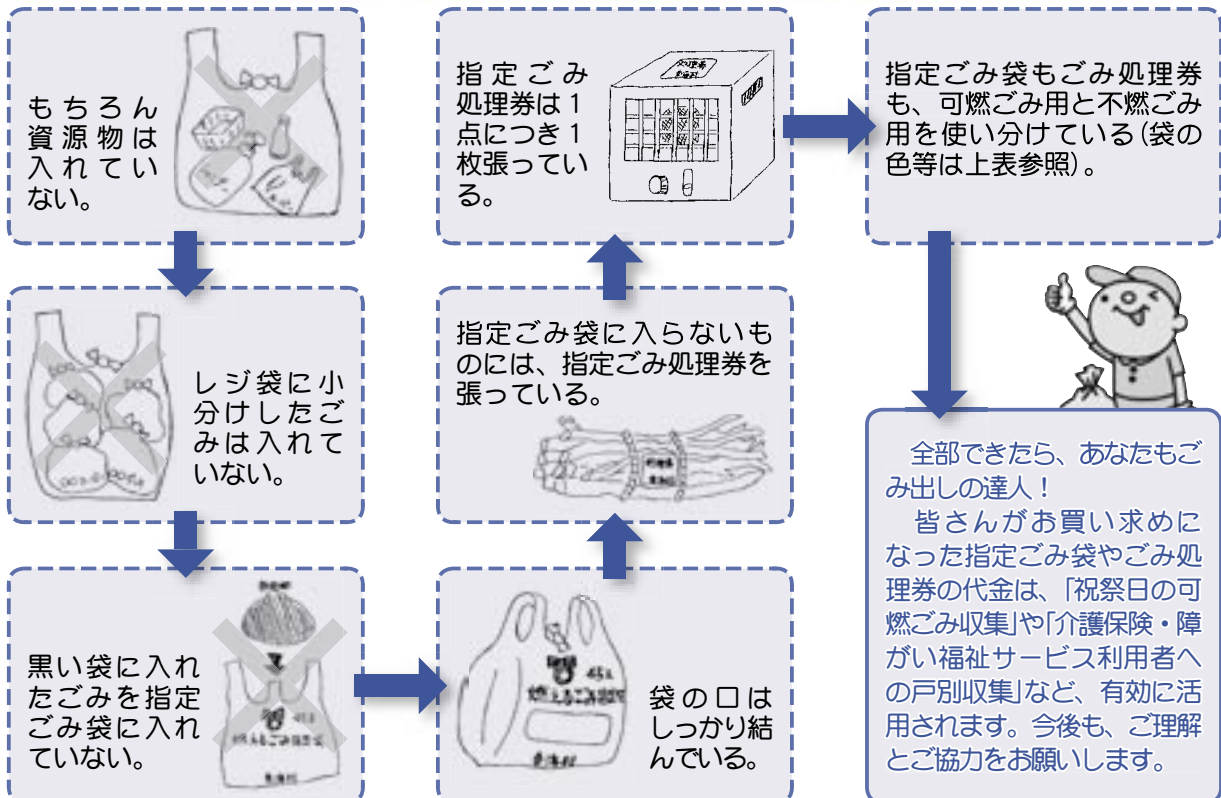
  

券の種類	券の色	販売価格
可燃ごみ処理券	黄色	200円/10枚入
不燃ごみ処理券	青色	200円/10枚入

※指定ごみ袋・ごみ処理券は、村内の販売店でお買い求めください。店舗名は、役場総合案内や清掃センター、各ごみ集積所、村公式ホームページで確認できます。

11月1日から、ごみ袋やごみ処理券の指定が完全実施となりました。この実施に伴う変更点などについては、これまでもお知らせしてきましたが、皆さんのなお一層のご理解とご協力をお願いしたく、今月は「指定ごみ袋・ごみ処理券の種類と値段」についてお知らせすることも、「正しいごみの出し方 達人度チェック」を掲載しましたので、参考にしてみてください。

## 正しいごみの出し方 “達人度” チェック!





# 地域医療を担う MED 村立東海病院

## 転倒予防～寝たきりにならないために正しい予防策を身に付けましょう～

### ◆ 転ばぬ先の知恵

高齢者の転倒事故は、全国的に数多く報告されています。高齢者が転倒すると骨折することがあり、場所によっては寝たきりにつながる恐れもあります。その原因は、加齢による筋力や柔軟性の低下、聴覚・視覚障害などによるバランス機能の低下といった身体的なものや、家庭内の電気コードや物につまずいて転倒するなどといった環境的なものに起因するといわれています。

### ◆ 転倒の実態

転倒事故は、60歳ころから右肩上がりに増加し、80代から90代が最も多く発生しています。身体の医学研究機関が行った実態調査によると、転倒の発生時刻はよく外出する時間帯に当たる午前10時から11時、さらに午後2時から5時にかけて集中する傾向にあり(図1)、歩き出してから約10分未満に転倒することが多いようです。転倒の場所は一般道路が半数を占め、自宅内では居間、寝室、トイレ、浴室が多いようですが、東海村では自宅での転倒の方が多く見られます。

### ◆ 転倒予防には

高齢者の転倒予防には適度な運動が大切です。運動することで、転倒を防止する体力(筋力、柔軟性、全身持久力、平衡機能等)の維持・増進が図られ、日常生活の活動範囲が広がり、生活機能が高まります。特に柔軟体操や筋力訓練、バランス訓練などが有効的です。日常生活の中で、自宅でも気軽にできる筋力訓練として、片足上げや膝の持ち上げ(図2)などがあります。また、自宅の環境をちょっとした工夫により改善することで転倒予防につながります。例えば①段差を分かりやすくするために黄色いテープを張る②着替えはいすに座って行う③照明をより明るいものにする④部屋を整理整頓し通路に障害物を置かない⑤手すりの設置——などがあります。ぜひ、実践してみてください。

図1 転倒事故発生時刻と発生率

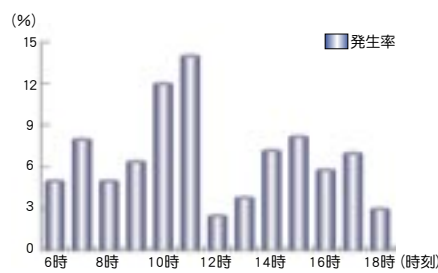


図2



#### 【片足上げ】

- ①いすに腰掛け、状態を真っすぐに保つ。
- ②片足をいすの水平の高さまでゆっくりと持ち上げ、約5秒間停止した後、ゆっくり下ろす。
- ③片足ずつ5回から10回反復する。



#### 【膝の持ち上げ】

- ①いすに腰掛け、状態を真っすぐに保つ。
- ②両膝をゆっくりと持ち上げ、約5秒間停止した後、ゆっくり下ろす動作を5回から10回反復する。
- ③きついときは、片足ずつ行ってよい。

出典：東京都老人総合研究所「高齢者の転倒予防を目指す運動プログラム」

■問 台 せ 村立東海病院(☎282-2188)、福祉部保健年金課地域医療推進担当(☎287-0899)

国民年金  
だより  
住居表示該当者の  
国民年金について

11月12日施行の住居表示対象地区(舟石川・船場の一部)にお住まいの年金受給者および被保険者は、住所変更の届け出が必要となります。

■年金受給者 福祉部保健年金課に備え付けの「年金受給権者住所・支払機関変更届」に必要事項を記入の上、水戸北社会保険事務所(☎310-0062 水戸市大町2丁目3番32号)に郵送、または福祉部保健年金課にお持ちください。

■第2号被保険者 現役の会社員など厚生年金保険の被保険者や、公務員など共済組合の組合員は、勤務先への届け出が必要です。

■第3号被保険者 第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者は、配偶者の勤務先への届け出が必要です。

■問合せ 福祉部保健年金課国保年金担当(☎282局1711 内線1133) ※なお、第1号被保険者(20歳以上60歳未満の方で、自営業者や自由業者とその家族(学生)は、福祉部保健年金課が一括して住所変更を行いますので、届け出の必要はありません。

# 文芸とうかい

【俳句】

庭先ですすきの取れる吾が暮し

舟石川 舛井 愛子

安達太良の頂を越える雲の峰

白方中央 根本 武

コスモスや終着駅の縄電車

白方中央 柴田 一声

紫の花の続いて鳥かぶと

東海 佐藤 とよ

迫り来てよよと崩れる葉月潮

南台 渋谷ひろし

ススキ生け月と虫とで夜もふける

外宿 西山 純一

秋風の香り漂う遊歩道

豊白 中島エミ子

明か明かと稲穂の照りの仏間まで

村松 松本 正勝

貧しさをなつかしく見る残し柿

東海 片野 紀夫

甘藷畑おさなこの声晴れ渡る

船場 畑 耕太

【短歌】

疎遠なる友の病を歌で知り早く回復をと健やかに  
祈る 照沼 佐藤 昇

おりおりにわが体験を話しする膝そろえ聞く孫  
たちいとし 舟石川 小川志つ江

指導者からのメッセージ

少年育成  
月刊 体験記  
PART. 92



おはなしボランティア「たんぼの会」に所属してから、まだ3年を過ぎたばかりですが、この短い時間の中で数え切れないほどの子どもたちと触れ合ってきました。絵本を通して、同じ場面で笑ったり、困ったり、かわいそうに思ったり、一緒にその感情を共有できる素晴らしさと、そこにいる子どもたちの目が絵本にくぎ付けになったその瞬間が読み聞かせをしている者の最高の喜び！この思いがあるからボランティアを続けています。いつの間にか子どもたちがいやされて、逆ボランティア”になっただけです。」「たんぼの会」には、子どもだけでなく、高校生や保護者を対象とした読み聞かせの指導（自分たちの経験をもとに成功

・失敗の秘訣を教えている感じ!?)を行ったり、お年寄りに読み語っているメンバーもいます。

この世に生を受けて、お父さんやお母さんに語り掛けてもらう。絵本を読んでもらう。ということは子どもにとって最高の宝物です。ところが、大きくなると「自分で読みなさい」と言われてしまいます。でも、自分で読むと物語だけを追ってしまいがち——耳からお話が聞こえて、目はゆっくり絵を楽しむことができるのが読み聞かせの良いところです。子どもの喜びになります。尊敬する読み聞かせの先生が「小さいころ読んでもらった絵本を読み返すことで、自分がどれだけ愛されていたかを思い出し、不登校だった子どもが外へ出る勇氣を持った」と話していました。

これからの日本を、世界を背負って立つ子どもたちを、親だけではなく周りの大人たち全員で育てていかなければと痛感します。大きな力にはなれなくても、子どもたちが明るい心で、夢や未来を語る事ができるよう、少しでも手助けができればと思います。そのためには、これからも講習会に参加して自分のレベルを高め、読み聞かせの練習も手を抜かず日々努力していこうと思います。子どもたちの目と心の輝きが続きますように…。

虫たちの大競演が始まりて雲の合間に十六夜の月  
 外宿 小林美代子  
 秋の夜を楽しむごとく鳴く虫の音色に暫し歩みとどめる  
 村松 高橋 正弘  
 雷鳴のとどろく晩夏猛暑なり八十路の老人流汗しとど  
 船場 村上より子  
 霜の朝孫の名忘れ笑う母園のあちこちおだやかな顔  
 内宿 村上 文江  
 遠見ゆる白き花咲く蕎麦の畑夏ぜみの声いつしか聞かず  
 船場 舛井庫之助  
 耳鳴りの如くに聞こえし蟬の声止みて巷は秋色に染まる  
 外宿 高槌 すみ  
 我が家門金木屋で曲りつつ玄関前の山茶花に触れ  
 舟石川 工藤和一郎  
 夕日さすススキ野菊に吾亦紅柿栗熟れて里は秋づく  
 南台 根本内俊男  
 トンネルをぬけて雨足なおつよくなかな期待消えてむなしき  
 緑ヶ丘 佐藤 正  
 山百合の僅かになりしさ庭には寂しさよけいに募りたり  
 白方中央 根本 怜子  
 ようやくに車椅子押す夫にむく互いの視線あたたかき  
 東海 片野 紀夫  
 道すがら木通たわわに色づきて実るを見つつわが歩みをり  
 舟石川 渡辺 光子  
 一陣の風に吹かるる稲の葉は葉裏返していたく乱るる  
 村松北 黒澤 孝子

【川柳】  
 分別のある人ボーとゴミ捨てる

白方中央 関口 満

エッセー頑張る

今どきの  
 青少年  
 VOL. 102



東海中学校1年  
 白方 高野 みづ穂

トラック&フィールド

真夏の日差しの中、照り返しが強く、トラックは焼け石のように熱くなっていた。「位置に就いて…」。

ピリピリした緊張感の中、スタートラインに就くと、手に焼き付けるような熱さと痛みを感じた。

「ヨイ」。バン！  
 スターターピストルの音とともに、思いっ切りトラックをけり出す。全神経を集中させるようにしてダッシュした。

今年の8月、私は、笠松運動公園の陸上競技場で開かれた「第35回関東中学校陸上競技大会」の種目「女子一年・百メートル」に茨城県の代表選手として出場した。そして、その後の記録会において、この10月に「日産スタジアム」(横浜市港北区)で開催の「第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会」の「女子・百メートル」と「女子・四百

メートルリレー」の選手として参加することが決まった。  
 去年の今ごろは、まだ小学生で、中学校に入学したら、どの部に入ろうかと夢を描いていた。

中学生になって仮入部の期間が始まり、いろいろな部活を見て回った。そのとき、陸上部の先輩たちがとても楽しそうに走っているのを見て、私も「走りたい」と思い、陸上部に入部した。

最初のころは、毎日がとても忙しく感じ、疲れていた。練習の準備をしたり、ライン引きなども覚えなければならなかったから大変だった。でも、数多くの記録会や地区大会に出場するに連れ、部活にも慣れてきて、毎日がとても充実した中学校生活になってきた。先輩からいろいろなことを教わり、後輩としての役割を覚え、同じ学年の仲間にも恵まれた。そして、何よりもみんなに応援してもらったことがとてもうれしかった。

先日のお県新人大会で、自己ベストを更新することができ、少しずつ日ごろの練習の成果が出せるようになってきたような気がした。これをステップに、ジュニアオリンピックで全国の選手たちと競っていききたいと思った。

「一瞬の風になって」



障害者センターの音楽隊「ポコ・ア・ポコ」による合奏



### ●「みんなが主人公! ひろげようふれあいの輪」をテーマに…

小春日和を思わせる日差しと陽気に恵まれた10月20日、社会福祉協議会などの協力の下、「第12回ふれあい福祉まつり」が総合福祉センター「絆」の多目的グラウンドで開催され、にぎわいを見せました。この日、会場内の特設ステージでは、聴く人の耳を魅了してやまない、村の障害者センターの音楽隊「ポコ・ア・ポコ」とハーモニカを楽しむ会「カナリア」による演奏のほか、掛け声に乗せて体を動かしたくなる「シルバーいきいき体操」などが催される一方、会場を囲むように配置されたボランティア団体等の模擬店からは、誘われるようなお総菜の香りと威勢のいい呼び声が…。ステージ前の芝生には、心もおなかも満たされた来場者が集い、その笑顔に浮かぶ楽しそうな表情がとても印象的でした。



ボランティア市民活動団体による模擬店の販売



AED（自動体外式除細動器）を使った救命講習



岡本孝司さん（東京大学大学院教授）

城山英明さん（東京大学大学院教授）

恵利いつさん（主婦）

青柳雅夫さん（日本原子力発電株取締役）

照沼卓郎さん（埼玉県川一区自治会長）

福島章さん（電力安全保安院首席補佐安全審査官）

### ●住民と行政、事業者の信頼で原子力安全文化の形成を

原子力安全の取り組みが住民の安心感に結び付くために行政・事業者・住民がすべきことは…。村では10月17日、東海文化センターで「原子力安全シンポジウム2007」を開き、パネリスト6人が討論するパネルディスカッションを催しました。これに先立って行われた東京大学大学院教授の岡本孝司さんや城山英明さんの講演では、“安全の見える化”と透明性、改善の継続、適度な緊張が重要であると強調。討論会での「原子力エネルギーにも頼る毎日の生活の中では、私たちが（原子力を）学ぶことも大切」などの討議に、500人の来場者は終始耳を傾け、静かに聞き入っていました。

### ●男性と女性が共に考え、行動し、責任を担う社会を目指して

「東海村男女共同参画推進条例」の制定を記念し、10月13日、「テクノ交流館リコッティ」で「レインボーフォーラムとうかい」が開催。通称「女子差別撤廃条約」に関する話題を井戸端会議風に茨城弁で解説する寸劇と、ホルム麻植佳子さん（株）ビジケアサービス代表取締役）による講演が催され、DV（主に女性が男性から受ける身体・精神・経済的暴力行為）や、“家事・介護は女性、地域の集まりは男性”など、日常における一部の慣習が男女間に偏見・不平等感をもたらしていること、これらの解消と男女共同参画の推進には男女が互いに理解し合うことの必要性が説かれました。





## ●心身踊って、みんな大ハッキリ。亀下区自治会で運動会

亀下区自治会では10月21日、久慈川河川敷運動場で運動会を開催しました。今年で28回目となるこの運動会には、区内8つの班(常会)のお年寄りから子どもまで200人以上が参加。晴れ渡る秋空の下、ススキの花穂がそよぐ会場いっぱいに黄色い歓声を響かせながら、「パン食い競争」「カード合わせてデート」「年代別リレー」など10種目を競い合いました。主催者の1人である自治会長の齋藤祐壽さんは、「荒天で一度は延期になったにもかかわらず、大勢が参加してくれ、みんなで懇親を深めることができたことがうれしい」と、喜びもひとしお。亀下区が持つ“地域活力”を実感していたようでした。

## ●白方小の児童、土器の破片を片手に「これって何ですか?」

10月11日と12日の両日、白方小学校の全学年児童659人を対象とした「豊岡宮前遺跡」の体験発掘調査・見学会が開催されました。この遺跡は、新・白方小学校建設地内に確認されている弥生時代から平安時代までの集落(住居)跡で、食器等として使われた土師器や須恵器なども複数出土している遺構。教育委員会では、これら身近にある史料に直接触れる、またとない機会を児童に提供することで、ふるさとの歴史や文化への理解を深めてもらおうと、専門調査員による解説やスコップを手にしての発掘作業体験などを催し、多くの参加児童の興味・関心を集めました。



## ●お互いの交流を深めるために…地域福祉活動に期待!

9月29日、社会福祉協議会主催の『地域に福祉を築こう』講演会が総合福祉センター「絆」で開催され、国際医療福祉大学教授の鈴木五郎さんによる講演「市民による協働とコミュニティワーク」などが行われました。これは、今後の地域福祉活動のあり方や方向性を探るきっかけづくりとして開かれたもの。介護や子育てに悩む家庭など、支え合いの対象者が多様化する今日、「世代間や地域での交流を深めてお互いを知ることが心の支えになり、相手を思いやる気持ちを育てたりします」との言葉に、来場者はこれからの地域が担う福祉的役割の重要性を再認識していました。

## ●スタートは午後5時30分。ナイトハイク参加で脚力に自信

9月29日、東海村青年会主催の「第10回ナイトハイク」が総合福祉センター「絆」を発着地点とする約23kmのコースで行われました。このウォークラリーは、親子や友人らが連れ立って夜間に長距離を歩くことで、日常では得難い達成感や参加者同士の交流を図ろうというもの。参加した107人はコミュニティセンターなど5か所のチェックポイントでコースにまつわる質問に答えたり、物の重さを当てるゲームをしたり。中には道路上の紙くずなどを拾う親子の姿も…。ゴール後の参加者からは「達成感がありますね」「なかなかできない体験ができて良かった」との満足げな感想が聞かれました。



午後11時55分ゴール! ※最初のゴールは午後11時3分、最後は30日午前11時26分でした。

## 中央公民館が優良公民館として表彰されました

地域住民の学習活動に大きく貢献し、事業内容・方法などに工夫を凝らす公民館を全国から選びだした文部科学省の「第60回優良公民館表彰」で東海村中央公民館が選ばれ、10月22日、東海大学校友会館霞ヶ関ビル33階において、渡海紀三朗・文部科学大臣から表彰されました。この表彰は、毎年8月下旬に中央公民館主催で開催の「子ども科学広場」が子どもたちの科学に対する興味・関心を高め、科学教育の振興につながっているとして高く評価されたもの。子ども科学離れが進む中、科学の楽しさや発見する喜び、感動を体験してもらおうと、教員や原子力事業所の担当者などで実行委員会を立ち上げ、アイデアを凝らした実験や体験が小中学生に提供されてきた中、今年度は村内のボランティアグループも加わり、「放射線の飛んだ様子が見られる霧箱」や「アルミはんこを作る」「オリジナル電気自動車などの体験コーナー」が設けられ、約3000人が会場を訪れました。

地域の総合的な生涯学習の中核施設として、地域資源や特徴を生かしたさまざまな事業を展開する中央公民館——これからも広く皆さんに愛され、共に歩む公民館として、積極的に生涯学習事業を推進していきます。



## 牧野泰さんが青年海外協力をしてウガンダへ！



9月18日、独立行政法人国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊としてウガンダ（東アフリカ東部内陸部）に赴任する牧野泰さん（村松出身）が村上村長を訪れました。初めての海外旅行で訪れたカンボジア——そこが目にしたものは、お金になるものを探して、ごみの山を歩き回る子どもたちと、その向こうにそびえ立つ発展したビル街でした。今まで当たり前のように学校に通い、何不自由のない生活をしてきた自分にとって、格差の象徴ともいえるその光景は衝撃的なものでした。以来、牧野さんは、「子どもたちのために何かできることはないか」という思いが強くなり、試験勉強などに励む一方、塾の講師やキャンプのリーダーなどにも積極的に取り組むことを通してスキルを身に付け、晴れて協力隊員に。ウガンダでは、「青少年活動」として、孤児院に併設する学校で、小・中学生を対象に理科の授業やレクリエーション、工作などの指導に当たる予定で、その活躍が期待されています。派遣期間は2年、期待と不安の中、ウガンダへと出発する牧野さんに、村上村長からは「一生懸命頑張ってください。人生のプラスになるでしょう」「Eメールの言葉が送られました。」

## 震災からの復旧と 柏崎市と刈羽村へ 義援金 復興が急がれる

今年7月16日に新潟県上中越沖を震源として発生したマグニチュード（M）6.8の激震災害「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震」では、柏崎市や長岡市、上越市などを中心に多くの人的・住家被害が発生し、今なお、住民がいち早く普段の生活に戻すための復旧・復興活動が続けられています。村では去る10月22日、この地震で震度6強を観測し被災した柏崎市と刈羽郡刈羽村を訪れ、総額131万3800円（各市村に65万6900円）の義援金を手渡しました。柏崎市と刈羽村は、東京電力（株）の柏崎刈羽原子力発電所が立地する関係上、本村も参加する、住民の安全確保と地域福祉への貢献を目的とした「全国原子力発電所所在市町村協議会」（事務局／福井県敦賀市）の会員であり、かねて交流があった自治体。地震の発生を聞いた村では、直ちに役場や村内小・中学校、幼稚園・保育所などで募金活動を始め、これに豊田区自治会や独立行政法人日本原子力研究開発機構から寄託を受けた分を合わせ、東海村としての義援金としました。

このたびの募金への皆さんのご理解と温かいご協力ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。また併せて、被災された方と被災地の一刻も早い生活再建をお祈りします。



品田宏夫・刈羽村長（左）に義援金の目録を手渡す渡邊政美・東海村副村長

## 図書館トピックス

「小さなおはなし会を開催します」

赤ちゃん(乳幼児)のための読み聞かせを行うブックスタートボランティアと保育士による手遊びや読み聞かせ等を通して、親子で触れ合いながら、楽しいひとときをお過ごしください。

▼期 日 11月29日(木)

▼時 間 午前10時30分～11時

▼場 所 多目的ルーム

▼対 象 0歳～2歳児およびその保護者

### 郷土関連の本を紹介します

図書館では、東海村や茨城県などの郷土に関する資料を収集しています。地域の歴史から観光・グルメガイドブック、郷土出身者のエッセイなど、幅広く所蔵していますので、ぜひご覧ください。

### ●『明日に賭けろ』

佐藤信彦著／文芸社

インターネット上で大人気のサイト「ビタの釣り天国」の人気コーナーの書籍化。ユーモアたっぷりの釣じざんまいのエッセイ集です。

### ●『空の牧場』

佐藤雅子著／銀の鈴社

東海村出身の著者の詩集です。子どもにも分かりやすい言葉で書かれています。

### ●『夕霧』

埴千里著／短歌新聞社  
歌人であり、郷土史研究家としても活躍された、東海村出身の著者の最後の歌集です。

### ●『ラーメンマップ 茨城1』

幹書房  
厳選された県内のラーメン店67店が紹介されています。

### ●『村松山虚空蔵堂縁起』

村松山虚空蔵堂  
村松山虚空蔵堂創建1200年を記念して作られたもので、村松山の歴史と文化について、写真やイラストを交えながら分かりやすく解説しています。

## 「たんぼぼの会」によるおはなし会

毎週土曜日(第5土曜日を除く)の午後2時から3時まで、おはなしコーナーで絵本の読み聞かせなどを行います。

### 休館日

11月12日(月)・19日(月)・23日(金)  
26日(月)・30日(金)  
12月3日(月)・10日(月)

### 第10回金属造形グループ「樫」展

11月11日(日)～17日(土)



茨城大学金工ゼミの卒業生によるグループ展。鍛金・彫金技法による器やオブジェなど20点を展示します。※最終日は午後1時閉館。

### 小室李絵と仲間たち～書展 おどなから子どもまで

11月18日(日)～24日(土)



大人は自分自身の思いを詩や成句に託し、子どもは「未来」をテーマに思い付く言葉を作品にしました。※午後6時閉館、最終日は午後3時閉館。

## STATION GALLERY

■開館時間 午前10時～午後7時(一部の展示を除く)  
■場 所 JR東海駅  
■問合せ 東海ステーションギャラリー(☎287-3680)

### 旅写真クラブ展

11月25日(日)～12月1日(土)



会員30名が自然や人々の姿などを撮影した作品展です。皆様のご感想をお聞かせください。※午前9時開館、最終日は午後1時閉館。

### 墨游展

12月2日(日)～8日(土)



公募展とは異なる書の創作を目指し、個性に任せた作品展です。書の楽しさなどを感じていただければ幸いです。※最終日は午後3時閉館。

### 埴富士夫「ナイーブなアート」展

12月9日(日)～14日(土)



埴富士夫さん(東海村出身、二紀展同人)の初個展。二紀展出品作(130号)を中心に展示しますので、ぜひご覧ください。※最終日は午後3時閉館。

## 人口と世帯数

平成 19 年 10 月 1 日現在		
前月比		
世帯数	13,531 世帯	+ 36
総人口	36,239 人	+ 54
男	18,208 人	+ 22
女	18,031 人	+ 32

## 役場の電話番号

☎ 282-1711 (代表)

11・10号/お知らせ



受講料  
無料

## 防災ボランティア養成研修会受講者募集

いつ起こるか分からない災害—日ごろから災害に関心を持ち、地域内で迅速・的確な支援活動ができる体制を整えておくことが大切です。発災時に防災ボランティアとして各種支援活動に参加・協力できる方を対象とした研修会に、ぜひご参加ください。



- 日 時 12月2日(日) 午前9時～午後4時
- 場 所 消防本部
- 内 容 午前…普通救命講習 午後…講義、演習 講師/矢野正広さん(NPO法人とちぎボランティアネットワーク事務局長)
- 対 象 ①65歳未満で防災ボランティアに関心がある方(すでに「茨城県防災ボランティア」として登録されている方を除く) ②市町村職員 ③市町村社会福祉協議会職員
- 定 員 50人 ※午前の講習は25人まで
- 申し込み・問合せ 11月26日(月)までに、ボランティア市民活動センター「えがお」(☎283-4538)へ申し込みください。

## 募集

### グランドゴルフ教室参加者募集

- 日 時 11月20日から12月13日までの毎週火・木曜日 午前10時～正午 ※教室参加者は、12月15日(土)にグランドゴルフ大会を行います。
- 場 所 役場行政棟西側広場
- 対 象 村内在住・在勤の方(30人)
- 講 師 岡部正人さん(ニュースポーツ普及指導員)、舟石川2区高齢者クラブグランドゴルフ指導員
- 参加費 クラブ会員…1,000円/人 非会員…2,000円/人
- 申し込み・問合せ SCスマイルTOKAI事務局(総合体育館内 ☎297-4370)で、11月13日(火)から受け付けます。

## 陸上自衛隊生徒募集

- 対 象 中学校卒業(見込み)以上17歳未満の男子
- 受付期間 平成20年1月8日(火)まで
- 試験日 第1次試験…平成20年1月12日(土) 第2次試験…平成20年1月25日(金)から28日(月)までの指定する1日
- 合格発表 平成20年2月29日(金)
- 給 与 150,200円/月
- その他 一般高等学校と同じ学科と各種技術の基礎を学び、3年間の教育終了時には、高等学校卒業資格を取得できます。
- 問合せ 総務部総務課総務法制担当(内線1313)、自衛隊茨城地方協力本部水戸募集案内所(☎226-9294 ホームページhttp://www.mod.go.jp/pco/ibaraki/ 電子メールhq1-ibaraki@pco.mod.go.jp)

## 薄葉沢溪谷と生田沢の滝めぐりハイキング参加者募集

- 期 日 11月18日(日)
- 場 所 常陸太田市(旧・里美村)
- 対 象 村内在住・在勤の方
- 定 員 先着30人
- 内 容 薄葉沢溪谷、生田沢大滝・小滝、めく森の湯入浴ほか ※コースの詳細は、お問い合わせください。
- 講 師 野田洋平さん(茨城大学名誉教授)、田畑由紀子さん(里山ウォーククラブ主任指導員)
- 参加費 クラブ会員…2,000円/人 非会員…3,000円/人(入浴料、保険料、バス代)
- 申し込み・問合せ SCスマイルTOKAI事務局(総合体育館内 ☎297-4370)で、11月13日(火)から受け付けます。





参加費  
無料

## 育児講座「親子ビクス」参加者募集

音楽に合わせて親子のスキンシップを深めます。

- 日 時 11月30日(金) 午前10時～11時
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住の親子
- 講 師 大久保由美さん(エアロビクスインストラクター)
- その他 上靴をお持ちください。
- 申し込み・問合せ 地域子育て支援センター(百塚保育所内 ☎270-5660) ※当日の午前9時30分から会場で受け付けます。

## 11月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
問 合 せ	救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)	
期日	病医院名	電話番号
11日(日)	村立東海病院	282-2188
18日(日)	村立東海病院	282-2188
23日(金)	茨城東病院	282-1151
25日(日)	村立東海病院	282-2188

## 内宿1区の自治会長が変わりました

内宿1区の自治会長を務められた江田五六さんが10月15日付で退任されました。当面の間、副自治会長の岡部正人さん(石神内宿1676-3 ☎284-0215)が自治会長の職務を代行しますので、皆様のご理解とご支援をお願いします。

■問 合 せ 総務部自治推進課自治推進担当(内線1341)

参加費  
無料

## 男性のための料理教室参加者募集

- 日 時 12月4日(火) 午前10時～
- 場 所 中央公民館
- 対 象 村内在住の男性(先着30人)
- 内 容 クリスマスやお正月にも使える簡単なヘルシー料理など
- 申し込み・問合せ 東海村食生活改善推進員連絡協議会事務局(保健センター内 ☎282-2797)で、11月13日(火)から受け付けます。

## 「きこえるよ 耳をすませば 心のさけび」 11月は児童虐待防止推進月間です

身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待——児童虐待は子どもの心身の発達や人格の形成に重大な影響を与えるだけでなく、虐待を受けた者が自分の子どもを虐待してしまうなど、子どもの一生涯、さらには世代を超えて深刻な影響をもたらしています。児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応、アフターケアに至るまで、総合的な対策が効果的に実施されるためには、児童虐待問題についての関心、理解を深めることが大切です。

### 子育てに関する講演会

- 日 時 11月22日(木) 午後2時～4時
- 場 所 役場行政棟5階(原子力視察研修室)
- 内 容 講演/「虐待を受けた子の心理」  
講師/金丸隆太さん(茨城大学講師)
- 入 場 料 無料

### 問 合 せ

福祉部社会福祉課子育て支援担当(内線1184)

## 茨城県最低賃金が時間額665円(10円引き上げ)に改正

10月20日から、県内で事業を営む使用者とその事業場で働くすべての労働者に適用されます。

- 問 合 せ 厚生労働省茨城労働局労働基準部賃金室(☎224-6216 ホームページ<http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp>)

## エトセトラ

参加費  
無料

## 「みんなですこやかウォーキング」を開催します

- 日 時 11月15日(木) 午前10時～11時30分  
(雨天中止) ※当日の午前9時30分から総合福祉センター「絆」正面入り口前で受け付けます。
- コ ー ス 総合福祉センター周回コース(約5.1km)
- 対 象 村内在住の方
- その他 ①飲み物とタオルをお持ちください。②歩きやすい服装でお越しください。
- 問 合 せ 保健センター(☎282-2797)



入場料  
無料

## サイエンスカフェinリコッティ(第4回)を開催!

- 日 時 11月17日(土) 午後1時30分～3時
- 場 所 テクノ交流館リコッティ(東海駅東口)
- 対 象 高校生以上(先着30人程度)
- 演 題 再処理技術の核心に迫る(“お宝”を分離)―体験しよう 欲しい物だけ“分ける”技!―
- 講 師 鷲谷忠博さん(原子力機構次世代原子力システム研究開発部門副主任研究員)
- 申し込み・問合せ 独立行政法人日本原子力研究開発機構地域交流課(☎282-1907)

## 全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

職場における男女差別、セクハラ、パートナーからの暴力など、女性の人権問題について、女性の人権擁護委員が相談に応じます。なお、相談は無料で秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

- 期 間 11月12日(月)～18日(日)
- 時 間 午前8時30分～午後7時(土・日曜日は午前10時から午後5時まで)
- 専用電話 ☎0570-070-810
- 問 合 せ 法務省水戸地方方法務局人権擁護課(☎227-9919)

## 「久慈川のほとり」20周年記念号を販売しています!

今年で記念すべき第20号が発行された「久慈川のほとり」——久慈川水系環境保全協議会が編集・発行しており、久慈川の四季折々の風景や日常の出来事、伝統や言い習わしなどが写真とともに書きつづられています。この機会にぜひご覧ください(ホームページ<http://www.net1.jway.ne.jp/kujigawa-hotori/>)。

- 販売価格 500円/部 ※「久慈川のほとり」第1号～第19号も同価格で販売しています。
- 問 合 せ 経済環境部環境政策課環境保全担当(内線1451)

参加費  
無料

## 精神障がい者家族教室を開催します

家庭に統合失調症の方がいる家族を対象に開催する教室です。交流を図り、一緒にホッとする時間を過ごしましょう。

- 期 日 ①11月29日(木) ②12月13日(木)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 ひたちなか保健所
- 内 容 ①統合失調症の理解と薬について  
②障害者自立支援法について
- 申し込み・問合せ なごみ・総合支援センター(☎287-2525)

参加費  
無料

## 家族交流会を開催します

村内在住の方で、家庭に心の病気を持つ方がいる家族を対象に開催する交流会です。お気軽にご参加ください。

- 期 日 11月16日(金)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 なごみ・総合支援センター
- 内 容 懇談・意見交換など
- 申し込み・問合せ なごみ・総合支援センター(☎287-2525)

## 土壌燻蒸薬剤の空き缶を回収します

土壌消毒などに使用されている土壌燻蒸薬剤(D-D、ドロクロール類)の空き缶を回収します。

- 日 時 11月28日(水) 午前9時～午後3時(正午から午後1時までを除く)
- 場 所 JAひたちなか東海支店
- 費 用 100円/缶(当日現金を徴収します)
- 搬入条件 ①缶の中をよく乾かして臭気のないもの。②缶の上部と底部に直径10cm以上の穴を開けたもの(当日会場に穴を開ける道具を用意します)。 ※搬入条件が守られない場合は、回収できません。
- 問 合 せ JAひたちなか東海支店東海配送センター(☎282-0203)

## 日本中毒情報センターの電話番号が変わりました

(財)日本中毒情報センター(パンフレット「子どもの救急ってどんなとき?」23ページに掲載)の電話番号が変わりました。パンフレットをお持ちの方は、修正をお願いします。

- 修正箇所 ①つくば…029-852-9999(365日、9時～21時対応、無料) ②大阪…072-727-2499(365日、24時間対応、無料)
- 問 合 せ 保健センター(☎282-2797)

## 村民相談

村では、就労でお悩みの方やその家族のための就労相談会を開催します。悩んでいる本人にとって、家族の理解は大きな支えとなります。お気軽にお越しください。

- 日 時 11月17日(土) 午後1時から
- 場 所 姉妹都市交流会館
- 問 合 せ 総務部自治推進課村民相談室(役場行政棟2階 内線1275)

## 11月9日から15日は 秋季全国火災予防運動週間です

火は見てる あなたが離れる その時を

火災が発生しやすい季節——次のことを守り、みんなで「火の用心」を心掛けましょう。

- ①家の周りに燃えやすい物を置かない。②寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。③天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。④風の強いときはたき火をしない。⑤子どもには、マッチやライターで遊ばせない。⑥電気器具は正しく使い、タコ足配線をしない。⑦ストーブには燃えやすい物を近づけない。

問 合 せ

消防本部予防課予防担当(☎282-2038)

# 第13回東海I～MOのまつり

みんなで遊びに来てね!



今年で13回目となる「東海I～MOのまつり」は、東海村の特産品であり、健康食品としても親しまれている「サツマイモ」が主役の祭典です。今年は、フードファイターとして活躍中のジャイアント白田さんに3組の親子が挑戦する大食い大会「I～MOのフードファイター」や水戸ホーリーホックの選手2人が出演する「スペシャルイベント」なども開催します。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

- 期 日 11月23日(金)
- 時 間 午前8時45分～午後3時30分
- 場 所 東海文化センター

- 内 容 ①「I～MOのフードファイター」 ②水戸ホーリーホックの選手が出演の「スペシャルイベント」 ③イモのつかみ取りをする「ジャンジャンどり」 ④サツマイモの収穫を体験する「いも掘り探検隊」(午前9時30分受け付け開始、先着500人) ⑤積み上げたイモの高さを競う「いも積み競争」 ⑥キャラクターショー(仮面ライダー電王)など
- 問 合 せ 東海I～MOのまつり運営協議会(経済環境部経済課内 内線1439)

## となりのまちから イベントガイド

### 北茨城市 ● 磯原節大会

- ◆期 日 12月8日(土)
- ◆時 間 午前9時～
- ◆場 所 ウェディングパレス白浜(北茨城市関南町神岡下219-29)
- ◆入 場 料 無料
- ◆問 合 せ 平成19年磯原節大会事務局(北茨城市商工観光課内 ☎0293-43-1111)

### 水戸市 ● 元旦スポーツフェスティバル

#### 元旦マラソン大会

- ◆時 間 午前8時30分スタート
- ◆対 象 小学生以上の方
- ◆定 員 先着2,400人
- ◆コ ー ス 千波湖畔1周
- ◆参 加 費 300円/人(保険料を含む)
- ◆申し込み 12月1日(土)から10日(月)までの午前9時～午後8時(月曜日は午後5時)に、参加費を添えて水戸市総合運動公園体育館(水戸市見川町2256)へ申し込みください。



#### 初テニス

- ◆時 間 午前8時～正午
- ◆場 所 水戸市総合運動公園テニスコート
- ◆参 加 費 無料
- ◆申し込み 当日に会場で受け付けます。

#### 初泳ぎ

- ◆時 間 午前7時～正午
- ◆場 所 小吹運動公園屋内プール(水戸市小吹町820-2)
- ◆参 加 費 無料
- ◆申し込み 当日に会場で受け付けます。

#### 問 合 せ

水戸市スポーツ振興協会(☎243-0111)

## ご協力ください! 秋のクリーン作戦

地域の環境美化運動の一環として、秋のクリーン作戦を実施します。不法投棄やポイ捨てのない「きれいなまち」を目指しましょう。

- 日 時 11月18日(日) 午前7時～8時  
※雨天の場合は、11月25日(日)に順延となります。
- 場 所 村内全域
- 問 合 せ 経済環境部環境政策課環境保全担当(内線1451)

入場料  
無料

## 第7回中丸ふれあいコンサートを開催します

- 日 時 11月18日(日) 午後1時30分～4時(午後1時開場)
- 場 所 東海文化センター
- 内 容 第1部…中丸小学校リコーダークラブ 第2部…東海村吹奏楽団、高野明日美さん(東海村在住フルート奏者) 第3部…合同演奏
- 問 合 せ 中丸コミュニティセンター(☎287-2128)

## ひたちなか市 ● 第56回勝田全国マラソン大会

- ◆期 日 平成20年1月27日(日) ※雨天決行
- ◆対 象 高校生以上の日本陸連登録者および一般アマチュア競技者
- ◆参 加 費 一般(フルマラソン)…3,500円 一般(10km)…3,000円 高校生…2,500円
- ◆参 加 賞 大会オリジナルTシャツ、完走(乾燥)いも、完走証(当日のみ発行)
- ◆そ の 他 マラソンの部男女上位入賞者(若干名)をポストンマラソンに派遣します。
- ◆申し込み・問合せ 11月30日(金)(当日消印有効)までに、所定の申込用紙に必要事項を記入の上、参加費(郵便振り込みも可)を添えて、勝田全国マラソン大会事務局(ひたちなか市教育委員会生涯学習課内 ☎262-5615)または松戸体育館(☎274-8273)へ申し込みください。なお、ホームページ(<http://www.runtes.jp>)や携帯サイトからも申し込みできます。



南台保育園 ● すずき しげん 駿くん

### サツマイモ掘り

保育園のお友達と一緒にサツマイモ掘りをしたときの様子を描いてくれたのは、駿くん(6歳)。

「自分たちで掘ったおイモで芋汁を作ったんだよ。おいしかった」と、笑顔で話してくれました。

# ぼくの夢 Dream-80 わたしの夢



夢は…。 “医者”

照沼小学校6年 ● 須藤可奈子

私の夢は、医者になることです。医者になり、多くの病気の人たちを少しでも元気にしてあげて、その人の家族や親せき、友人などを喜ばせてあげたいからです。または、人ではなく動物の命を守る獣医さんでもいいと思います。動物を元気にして、飼い主の人たちを安心させてあげたいからです。

どんなに重くて、つらい病気だとしても、少しずつ良くして、元気にしてあげて、家族と一緒に暮らせる時間を少しでも長くしてあげられればいいなと思います。

私はそのような家族の悲しく、つらい気持ちがよく分かります。それは、私もとても大好きで大切な人を亡くしてしまったからです。生まれて初めての悲しい体験でした。そんな悲しい思いをする人が少しでも減ってほしいのです。私は、そんな思いをする人を少しでも減らすためにも医者になりたいのです。

## わが家の 子育て奮戦記

表紙の「ひと」  
横尾 薫



長女・佳乃葉(3歳)が私たちの下にやってきたのは、とても暑い夏の日でした。退院したばかりのころは、寝息を何度も確かめながら、小さな命を授かり受けた緊張感と責任感でいっぱいでした。パパだけは…。私はというと、自分の体調の不快感で、それどころではなく、「取りあえず寝よう」と毎日赤ちゃんと寝放題。パパのおかげで母子ともどもすくすく育ち、娘はいつの間にか、「ふすまを閉めて」とお願いすると、障子と間違えることなくふすまを閉め、玄関でいたずらしていると思えば、ほつきを持って掃除しているような、何でも自分から進んでやる、好奇心旺盛な女の子に育ちました。

そんな佳乃葉が、ある日突然話を聞かなくなり、何でも「イヤ、イヤ」。反抗期かなとあれこれ理由を探していたら妊娠発覚。母の変化に娘は敏感に気付いていたようです。姉弟仲良くできるかと不安でいっぱいでしたが、いざ弟が生まれてみると、弟をあやしなながらお風呂に入れたり、上手にご飯を食べさせたり、ひざ枕で寝かし付けたりと、私の子育ては、母の出る幕なしです。食事の用意をしたり、お風呂を洗つたりと裏方ばかり。それだつてままならない私に、娘は優しく、時には厳しく励ましてくれます。

長男・風環(1歳)。こちらは生まれて数か月で、暗闇から笑い声を立てるようになったニコニコ君。朗らかという言葉がとてもし合う男の子ですが、一度食べ物絡むと大変。あげるまで泣き通す頑固さの持ち主です。それでも、姉の優しさに見守られながら育ち、昼寝中の姉のおなかにハンカチを掛けてあげたり、泣いている姉の涙をふいてあげるような心配りができるようになりました。

子どもたち2人に願うことは、姉弟仲良く。今は良いことも悪いことも仲良く一緒にやっています。大人になり困ったとき、悩んだとき、お互いが心のどこかで支え合い、頼れる関係になってくれればいいなと思います。大きくなるに連れて、見失ってしまいがちな子どもたちの心に、しっかりと、ひっそりと添い続けていきたい。そんな思いを胸に今日もせっせと裏方を務めます。間違ったり、迷ったりすることばかりですが、一歩一歩家族で力を合わせて歩んでいきたいと思っています。